

鹿市医郷壇



兼題「夏休(なつやす)ん」

天

上町支部 吉野なでしこ

子も親もまこて忙しか夏休ん

(唱) 何処か行こ言て凄ぜ催促かれつ

(評) 最近の子どもたちは、夏休みでも

塾に行つたり、部活で夏練があつたりで、

まことに忙しい。

それが無い時は朝から晩まで、食事だ、

おやつだ、どこか連れて行けど、煩くて

息つく暇もありません。出来れば夏ぐら

い子どもは学校に預けてゆつたりしたい

と思つのが親の本音かもわかりません。

休みとは名ばかりで、親もゆつくりと休暇を取りたいものです。欧米のように、本当のバカンスがない日本です。

集だつて海に連れて行かなればならぬし、何をするにも、親が段取りしてやらないとなりません。まあそれが親子の触れ合いになるかもしませんが。

地

清滝支部 鮫島爺兒医

五客一席 伊敷支部 谷山五郎猫

口ロナ騒動であつち間終わつ夏休ん

(唱) 時間が足らじ休んぬ削つ

五客二席 霧島 木林

(唱) ちゃんと休めぢ言つ監督署

五客三席 印南 本作

(唱) 子を公園に遣つから一度寝

夏休ん仕事の虫な氣い食わじ

(唱) 夏休ま親ん出番の自由研究

紫南支部 一軒茶屋電停

五客四席 清滝支部 鮫島爺兒医

(唱) 首尾を取らん子い家族で加勢しつ

旅館代値切つたしこん飯す食せつ

薩摩狂句 一〇〇年 三條風雲兒著

五客五席 醬油屋孫一

(唱) 油断ぬすれば遊びはつ出つ

宿題ゆばせえち子を叱つ夏休ん

薩摩句鑑賞 130

(唱) 漆せ遊すだち友達し自慢を言つ

五客四席 清滝支部 鮫島爺兒医

(唱) 焼けた肌で思い出が有つ夏休ん

薩摩狂句 一〇〇年 三條風雲兒著

宿題ゆばせえち子を叱つ夏休ん

旅館代値切つたしこん飯す食せつ

薩摩狂句 一〇〇年 三條風雲兒著

(唱) 漆せ遊すだち友達し自慢を言つ

薩摩狂句 一〇〇年 三條風雲兒著

薩摩狂句 一〇〇年 三條風雲兒著

(唱) 漆せ遊すだち友達し自慢を言つ

秀逸

秀逸

清滝支部 鮫島爺兒医

病氣いも夏休ん言が欲しち医者

夏休ん親は仕事で子あ遊つ

夏休み富士じ登つたち良か記念

戦時中あ弾丸磨くした夏休ん

コロナ騒動夏休んねば短こしつ

上町支部 吉野なでしこ

宿題ゆば徹夜で頑張つ夏休ん

夏休ん今年しゃコロナで短こなつ

伊敷支部 谷山五郎猫

病人宅マスク外せん夏休ん

内気な子あ公園に一人夏休ん

公園で蝉と遊すじよい夏休ん

割勘ち請求書を見つかあきし吐えつ

大山 元帥

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休み休んも無して塾き通つ

霧島 木林

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休み休んも無して塾き通つ

醤油屋孫一

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休み休んも無して塾き通つ

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休み休んも無して塾き通つ

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母
夏休み休んも無して塾き通つ

伊敷支部 谷山五郎猫
病人宅マスク外せん夏休ん
内気な子あ公園に一人夏休ん
公園で蝉と遊すじよい夏休ん

霧島 木林
夏休ん今年しゃ短けち嬉し母
夏休み休んも無して塾き通つ

夏休ん今年しゃ短けち嬉し母
夏休み休んも無して塾き通つ